

留学体験レポート

国際学部国際文化学科

21015054

坂爪俊介

1. はじめに

留学先で体験したことや、学んだことについて書いていこうと思います。

2. 食事について

朝昼晩の食事は大学の中にある食堂で食べることができます。Union という名前の食堂です。バイキングみたいな感じで食べ物を取りに言って食べるのですが、メニューはほぼ変わりません。ポテトサラダがただのポテトに変わる、という感じです。なので1ヶ月過ぎると飽きてきますので、近くのWalmart という留学生には生命線のスーパーで食材を買って自分たちで作ったりしていました。あとは家族から送ってもらった日本のお菓子や食べ物を食べたりして過ごしていました。

3. 大学での暮らし

大学での暮らしは控えめに言っても最高です。いろいろな国の人たちがいるのでその国についても聞けるし面白い会話がたくさんできます。ノリが日本人と違うのでたまに疲れるときもあるが、一緒に遊ぶと楽しいです。英語が完璧にできなくても単語をつなげて話しても相手は理解してくれる時もあります。こちらから話しかけないと向こうも話してくれないです。話しかけると優しく話してくれるので大丈夫です。

4. 授業や勉強

授業の進め方は高校や大学の授業と似ています。発音の仕方については間違った発音をするとその時に直されるのでとても身になります。クラス構成は今回の留学では2クラスで分かれて、他の国の方と日本人で授業していきます。同じクラスになったほかの国の方ともお友達になれました。一週間に2,3回くらい教科書のパートテスト的なのが行われていました。中間テストや期末テストの前は寮の一階のロビーで勉強したりしていました。

5. 大学やクラスが行うイベントについて

大学内ではほぼ毎日イベントが行われていました。在学生やクラブのメンバー主催で行っているイベントが多かったですが、参加すると食べ物がもらえたりゲームもできるし、新しい友人もできました。感覚が日本のとは違って、たまに疲れることもあり

ましたが、とても楽しいイベントばかりでした。イベントは夜中まで行われるものもありました。次の日眠くなることもありました。

6. おわりに

留学は悩みに悩んで行くことを決意して、終始不安でしたが、結果的にはとても有意義なものだったと思います。英語のスキルも上がりましたし、新しい友人や文化について学びました。アドバイスとしては、自分から話しかけていくことや、日本人同士で固まらないことかもしれません。固まってしまうと他の国の人は話しかけにくくなってしまいます。食事は大学の料理だけ食べていると飽きてきますので、近くのスーパーマーケットで食材を買って、自分で作るのもいいと思います。